

希 望 の 丘

平成30年2月1日 文責 校長 田口浩幸

2月8日は生月小学校創立記念日



明治8年2月8日が生月小学校の創立の日です。NTT電話交換所近くの四つ角に、その記念碑が建てられています。

大正時代に作成された「生月村郷土史」には、創立の経緯が以下のように記されています。

『本島は古来農家及漁業家大部を占めたるを以て教育微々として振るはず唯一二の寺子屋ありしのみなり。維新後時勢の進運に伴い教育も暫時普及し明治八年二月八日里免栄光寺の一室を借り受け生月里小学校を創設す。是大学生月部に学校を設けたる初めにして当時の生徒数四十余名なりと。』

明治維新政府が明治5年に出した「学制」により日本各地に学校が創設されることとなります。生月においても、新しい時代に教育は不可欠であるという、当時の人々の熱い思いによって、わずか3年後に小学校が創立されたわけです。

新政府は、この新しい教育制度を作るにあたり、「学事奨励に関する仰せ出だされ書」として、方針を国民に示しています。その書き出しは以下のとおりです。

『人々が自分自身で立身し、その財産を管理し、その事業を盛んにして、そうすることでその一生を全うすることができるのはなぜかという、それはほかでもない、身を修め(=自分の行いや心を整え直し)、知識を広め、才能や技芸を伸ばすことによるのである。そうして、その、身を修め、知識を開き、才能や技芸を伸ばすことは、学問によらなければ不可能である。(現代語訳)』

上記の方針はおよそ150年前に出されたものではありませんが、学ぶ意義や本質は今でも変わりません。今の学習指導要領の言葉に直すと「生きる力」になるのかもしれませんが、子供たちが自立・自律をめざし、進む道を自らの力で切り開き、充実したものにできるようにしなければなりません。

この2月8日の創立記念日を迎えるにあたって、当時の地域や保護者の皆様の熱意に思いをさせ、決意を新たに努力したいと思えます。

メディア講習会(1/18)



1月の授業参観の後に、学校保健委員会の活動の一つとして、「親子メディア研修会」を開催しました。はじめに、学年委員長会のお母さん方による人形劇がありました。低学年

の子供たちにもわかりやすいようにと工夫していただき、毎週木曜日の「メディコンデー」の過ごし方等について説明してもらいました。次に、今年度何度もおいでいただいている、県メディア指導員の坂本さんに、スマホやタブレットの正しい使い方やゲームをしすぎることでどんな困ったことが起きるのかわかりやすくお話していただきました。



ようこそ先輩 (高校生助手派遣事業)



1月29日から猶興館高校の「高校生助手派遣事業」として本校卒業生の石山知さん(3年生)が来てくれています。将来幼稚園・保育園か小学校に勤めたいということです。1年生の教室に主に入ってもらい、個別指導やプリントの丸つけをしたり、昼休み一緒に遊んでもらったりしています。

2月 主な行事

- 4日(日) 市P連研究大会生月大会
- 6日(火) PTA役員会
- 7日(水) 新入生保護者説明会
- 12日(月) 振替休日
- 15日(木) 8の字ジャンプ大会
- 16日(金) 授業参観・懇談(高) 学校保健委員会
- 21日(水) 授業参観・懇談(中)
- 23日(金) 授業参観・懇談(低)
- 27日(火) 鼓笛移杖式

*学校だよりは HP にも載せています。平戸市立生月小学校で検索してください。

生月小学校 HP→<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/school/ikitsuki/>